

2020年5月20日

【遠隔授業中の相談室活動について】

八戸高専 相談室

5月の連休が終わってからも遠隔授業が続き、さまざまな不安やストレスを抱えて過ごしていることと思います。

相談室は前からお知らせしているように開室しています。相談がある場合は、まず電話かメールで相談員か保健室に問い合わせください。カウンセリングを希望する場合は、日時を予約いただいての対応になります。下記に示した本校ホームページにカウンセラー等の来校日が掲載されているので、確認してください。

予約して来室相談する場合は登校が許可されるので、体温チェック、マスク着用、面接前後の手指の消毒など感染防止の万全の対策を行ったうえで利用してください。体調が悪い場合やかぜの症状がある場合は控えてください。事前に予約した場合は、来校できない旨必ず連絡してください。

相談は、原則として「対面相談」で行います。しかし今後の状況によっては、対面以外の方法（電話、テレビ通話等）による実施などの対応がとられる可能性があります。その際は、できるだけ個別のニーズに応じた相談方法を検討します。

- ① 対面相談（ただし、移動時のリスク、対面時のリスクについて学生に教示し、また来室前の検温、来室時のマスク着用、面接前後の手指の消毒等、利用のルールを徹底します。）別紙1 参照
- ② 電話相談（予約時間にカウンセリングルームより保健室スタッフが学生に電話をかける。通話可能な状況を確認してから、カウンセラーが対応する。学生側は、自室内などプライバシーが守られる空間にすることが条件です。）
- ③ テレビ通話（Microsoft Teams）相談（カウンセラー室にPCを準備し、予約時間にMicrosoft Teamsで相談できるようにセットしておきます。学生は自分のOffice365のIDとパスワードを使用して参加します。この場合も、学生側はプライバシーが守られる空間で、かつ安全なネット環境が確保できることが条件です。また事前にテレビ通話相談に関する同意書を提出してもらいます。）

電子メールによる相談は原則として行いません。ただし、Teams相談等の事前相談や相談予約などをメールで行う必要がある学生の場合は、自分のアドレスを使用してください。

授業のこと、友人関係のこと、心身の健康のことなど、相談室ではどんなことでもカウンセラーが相談に応じ、必要な場合は学内の他部署や学外の相談機関等も紹介しています。不安なことはそのまま一人で抱え込まずに、まず相談ください。

・八戸高専 相談室ホームページ <http://www.hachinohe-ct.ac.jp/schoollife/soudan/index.php>

対面面談による利用のルール

(R2. 5. 11 時点)

- ・面談前に体温測定の実施 発熱や風邪などの症状、息苦しさ、味覚症状の有無の確認
(発熱や症状が見られた場合は、帰宅となる)
- ・マスクの着用 (カウンセラー、利用者)
- ・相談前後の手洗い又はアルコール消毒の実施
- ・相談時の定期的な換気の実施 (カウンセラー、利用者)
- ・2メートル以上の距離を保つ
- ・一人の相談が終了後、カンセリングのルームの換気の施行、入口ドアの手摺やテーブル等のアルコール消毒の施行
- ・来校のため移動手段として公共交通機関を利用する際は、感染リスクが高まることを伝え、マスクの着用、まめなアルコール手指消毒の実施、できる範囲でのソーシャルディスタンスの確保、混雑時を避けた来校時間の設定等の感染予防対策の実施依頼
(自宅等で発熱や症状がないことが前提)
- ・相談室のスタッフや利用者から感染者が出た際の学校、保健所等への情報提供の可能性があることを伝え、同意を得る (必須)
- ・緊急連絡先の確認 (学生本人から連絡先を教えてもらう。複数の連絡先とする。学生調書の活用)
- ・家族、保護者が相談室利用を知っているか確認